

# 薩摩硫黄島硫黄岳山麓に分布する火砕流堆積物の<sup>14</sup>C年代\*

<sup>14</sup>C dating of the lo-dake pyroclastic flow deposits,  
Satsuma Iojima volcano, Japan.

地質調査所\*\*

Geological Survey of Japan

薩摩硫黄島硫黄岳山麓の火砕流堆積物について放射性炭素年代測定を行ったので報告する。

薩摩硫黄島の硫黄岳山麓には、何枚かの火砕流堆積物が硫黄岳西麓から中腹展望台にかけての範囲に分布している。火砕流堆積物は灰白色の軽石を主体とする淘汰の悪い堆積物で、パン皮状火山弾のめり込み構造を伴うことが多い。

これまで、硫黄岳起源の火砕流の噴出年代の報告は、小野ほか(1982)による火砕流堆積物中の炭化木片の放射性炭素年代 $1290 \pm 80$ y.B.P.がある。今回、新たな露頭において、複数枚の火砕流堆積物を識別したことから、堆積物中の炭化木片を用いて、加速器を用いた放射性炭素年代測定を行った。

2つの火砕流堆積物中の炭化木片は、 $530 \pm 40$ y.B.P.と $610 \pm 30$ y.B.P.であった。14世紀から15世紀にかけて火砕流を伴うマグマ噴火が硫黄岳で発生していたことが判明した。

## 参 考 文 献

小野晃司・曾根竜典・細野武男(1982) 5万分の1地質図幅「薩摩硫黄島地域の地質」および同説明書、地域地質研究報告, 80, 地質調査所.

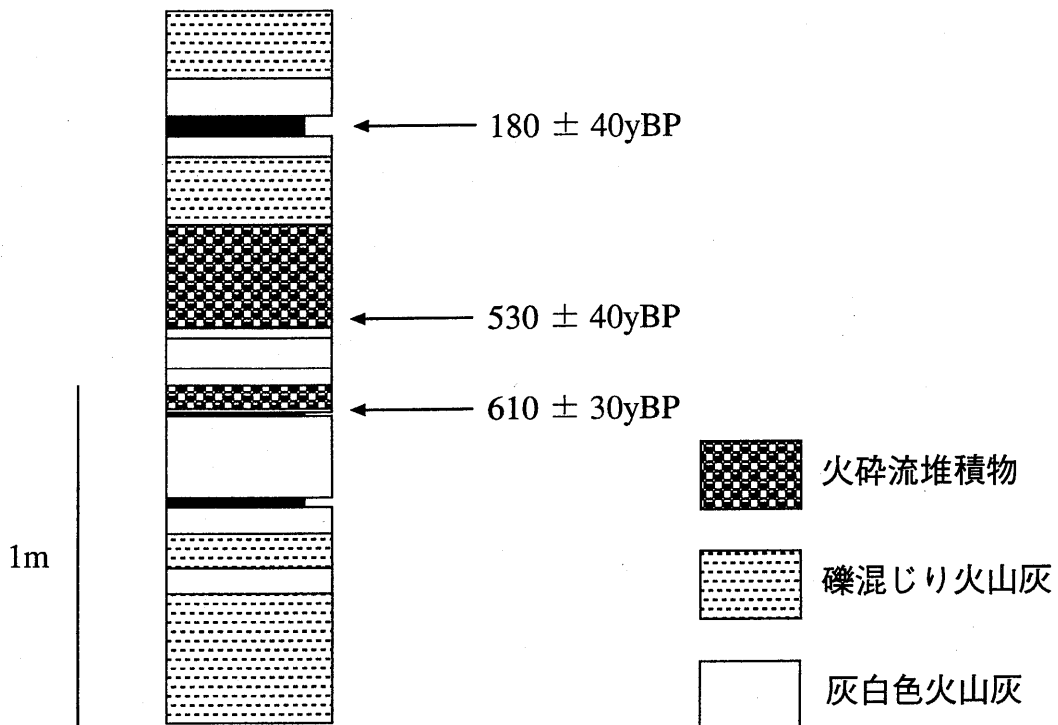


図 硫黄岳西麓火砕流柱状図および年代値

Fig. Columnar section and <sup>14</sup>C dating of pyroclastic flow deposits, western foot of Iodake.

\* Received 21 Dec., 1999